

PL/SQL プログラミング I ～研修受講前テスト 解答～**■問題 1 【PL/SQL 概要】**

PL/SQL の特徴について、正しいものを1つ選んでください。

- 1文単位で実行される。
- 表や列の名前を指定するだけでデータアクセスが可能な、手続き型の言語である。
- 反復処理や分岐処理など、SQLでは単体ではできない複雑な処理が行える。
- 全てのリレーショナル・データベースで共通の言語である。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>1-1

■問題 2 【PL/SQL 概要】

PL/SQL を構成する3つの部の組合せについて、正しいものを1つ選んでください。

- 仕様部 — 実行部 — 例外部
- 宣言部 — 実行部 — 例外処理部
- 仕様部 — 本体部 — 例外処理部
- 宣言部 — 本体部 — 例外部
- 分からない

<テキスト掲載箇所>1-3 ～ 1-4

■問題 3 【PL/SQL の基本記述】

カーソルを使用するときの流れについて、正しいものを1つ選んでください。

- カーソルの定義 — カーソルのオープン — 行の取出し — カーソルのクローズ
- カーソルの定義 — 行の取出し — カーソルのオープン — カーソルのクローズ
- カーソルのオープン — カーソルの定義 — カーソルのクローズ — 行の取出し
- カーソルのオープン — 行の取出し — カーソルのクローズ — カーソルの定義
- 分からない

<テキスト掲載箇所>2-13 ～ 2-18

■問題4【PL/SQLの基本記述】

「例外」についての説明で、正しいものを1つ選んでください。

- 「例外」とは、警告またはエラー条件のことである。
- 「例外」とは、実行中のプログラム内でのみ、許可される条件のことである。
- 「例外」とは、他のユーザーが管理するプログラムのことである。
- 「例外」とは、Oracleが内部的に使用するプログラムのことである。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>2-35

■問題5【ストアド・サブプログラム】

ストアド・サブプログラムの説明について正しいものを1つ選んでください。

- ストアド・サブプログラムとは、Oracleによって予め用意されているプログラムのことである。
- ストアド・サブプログラムは、管理者ユーザーによって管理されている。
- 全てのストアド・サブプログラムは、PL/SQLブロックに名前が付けられており、データベース内に格納されている。
- 全てのストアド・サブプログラムは、SQL上で実行可能である。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>3-1 ~ 3-6、3-13 ~ 3-14

■問題6【ストアド・サブプログラム】

プロシージャの説明について、正しいものを1つ選んでください。

- プロシージャとは、必ず1つの値を戻すプログラムのことである。
- プロシージャとは、SQLで実行可能なプログラムのことである。
- プロシージャとは、プログラムを実行するときの一連の手順のことである。
- プロシージャとは、特定の処理（データの追加や変更など）を実行するプログラムのことである。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>3-1

■問題7【ファンクション】

ファンクションの説明について、正しいものを1つ選んでください。

- ファンクションは、戻される値のデータ型を指定しなければならない。
- ファンクションには、パラメータを複数指定することはできない。
- ファンクションは、SQLで直接実行することはできない。
- ファンクションは、計算処理の結果を戻すため、文字型のデータを戻すことはできない。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>3-1、5-1

■問題8【パラメータ】

パラメータの説明について正しいものを1つ選んでください。

- パラメータは、自動的に起動するプログラムのことである。
- パラメータに、初期値を設定することはできない。
- パラメータを使用すると、プログラム実行時に値を受け渡すことができる。
- パラメータには、INモード、OUTモード、RETURNモードの3種類のモードがある。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>4-3 ~ 4-8

■問題9【トリガー】

トリガーの説明について正しいものを1つ選んでください。

- 作成者以外のユーザーがトリガーを実行するためには、EXECUTE権限を付与する必要がある。
- トリガー文内では、DML文を記述することはできない。
- トリガーは、デフォルトでは使用不可能な状態で作成される。
- トリガーは、起動するタイミングと起動単位を検討した上で作成する。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>6-1 ~ 6-6

■問題10【スタアド・サブプログラムの管理】

スタアド・サブプログラムの管理について、正しいものを1つ選んでください。

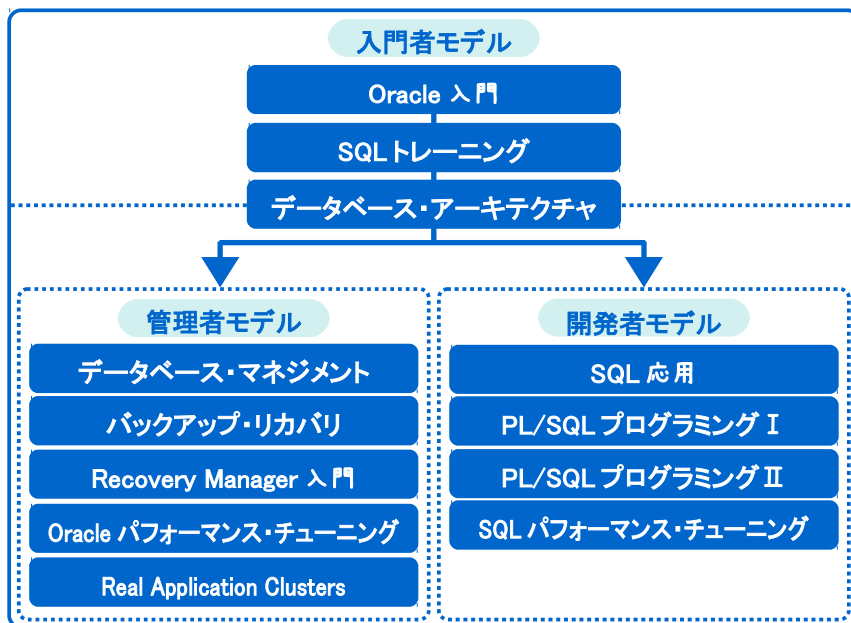
- スタアド・サブプログラムを管理するには、オブジェクトの依存関係を把握する必要がある。
- 参照している表の定義を変更しても、スタアド・サブプログラムには影響はない。
- プロシージャを再作成すると、参照している表のデータに影響を及ぼす。
- プログラムの再コンパイルが自動的に行われることはない。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>7-1 ~ 7-10

Information

アシスト Oracle 研修内容の詳細については下記ページをご覧ください。
<http://www.ashisuto.co.jp/ojt/course/oracle/>

アシストOracle研修受講モデル



<入門者モデル>

Oracleの基本構造やSQLの基礎構文など、Oracleの全体像を理解できます。新入社員や異動された方など、これからOracleに携わる方にぴったりのモデルです。

<管理者モデル>

管理者として必要な運用管理タスクの理解やバックアップリカバリ、システムチューニングの技術を習得できます。

<開発者モデル>

Oracleを使用した開発に必要なPL/SQLの習得、索引やSQL記述方法などによるSQLチューニング技術を習得できます。

※研修内容についてご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

アシスト教育部：【TEL】0120-874-337 / 【FAX】0120-874-437/ 【E-Mail】edusup_ora@ashisuto.co.jp